

## 【第11回】

### これからの生理学教育

大阪医科薬科大学 医学部 生理学教室 教授  
日本生理学会副理事長・(教育・キャリア形成担当)  
小野富三人

今年の4月から教育委員会委員長を務めております大阪医科薬科大学の小野と申します。私自身は教育委員会に所属してから4年ほどで、しかもその大部分はコロナ期間中だったので委員会の業務も把握できていない部分がありますが、委員の先生方や学会員の皆様に助けをいただいでなんとか任期を務めたいと思っています。

言い訳ばかりのようで恐縮ですが、私は10年前に現任校に着任するまでアメリカに17年いてその間は大会にも出ていなかったもので、生理学会が100周年に至る最近の歴史をずっと見てきていたわけではありません。それでも日本に帰ってきてから大会に参加してみると、学会や大会での生理学教育の重要性というものを肌で感じます。教育関係の講演会や模擬講義、シンポジウム、ワークショップなどは、それを一つの目的にして大会に参加されている会員の方もかなりおられるんじゃないでしょうか。これらを録画したビデオは学会の貴重な財産であり、今までは大会後に期間を区切って会員の皆様に公開してきましたが、今後は恒久的に教育のための素材として公開できるよう、システムを整備していきたいと考えています。もう少し長期的な視点に立つと、新たなオンデマンドのコンテンツを作成し、会員の皆様が授業などで利用できるようなシステムを構築する、というような構想も視野に入ってきます。ただし後者に関しては、実際にどのような会員からのニーズがあるのかを聞き取りながら、さらに言えば生理学教室の統合・撤廃や人員削減の口実にされない

よう、リアルな学生とのインターアクションで行うのかという問題と一体で考えていく必要があると個人的には考えています。

その他、医療系の大学生やそこへの進学を考えている中学生・高校生に生理学への興味を持ってもらうというのも大きな目標です。これに関しては他の委員会の先生方とも協力しながら継続的に広報・啓蒙活動を行なっていく必要があります。中高生への出前授業には多くの先生方の登録をいただいでおり、実際に授業の依頼が事務局に來ています。そのような機会には是非若者たちが生理学に興味を持ってくれたらと思います。それ以外に、私自身が今まで比較的多く関わってきたものに生理学クイズ大会があります。7月にはセブ島で開かれた世界大会に本学の学生チームと一緒に参加してきましたが、学生たちにとっては素晴らしい体験になる行事でした。○×で生理学を語るなんて、と否定的にみられる先生もおられるとは思いますが、ぜひ機会があれば学生たちが熱く戦う様子、終わってから交流する様子をご覧いただけたらと思います。秋には慈恵医科大学の主催でオンライン大会が、来年の春には大阪医科薬科大学主催で対面大会が開かれます。これらは生理学会の主催ではなく、生理学会はあくまで後援をしているだけではありますが、今後日誌やHP、X(旧Twitter)でも広報していきたいと思っております。もし興味がある学生さんがいたらご紹介いただけたらと思います。